



情報活用能力としてのねらい	活用できる教科や学習活動
<p><b>A6：アンケート</b></p> <p>・集計・分析できるように適切な設問や選択肢を作成できる</p>	<p>特別活動「適切なアンケートを作ろう」</p> <p>その他、国語や総合的な学習の時間、生徒会活動等で、アンケートを作成するときに活用</p>

## 特別活動「適切なアンケートを作ろう」

適切なアンケートを作成し、実態を把握することは正確に情報を把握するためには重要である。また、中学校生活においてアンケートを生徒自身が作成する機会が多い。そこで、適切にアンケートを作成するスキルの向上を図りたい。

学習活動	準備物・留意点等
<p><b>1. 考えてみよう</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">調べる計画を立てよう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの質問文と選択肢について考える。</li> <li>・アンケートに答えてもらうことを考えて、計画を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマについて考えさせる。</li> <li>・テーマは、候補をいくつか考えておくように指導する。</li> <li>・スキルポイント①を参照させ、計画について指導する。</li> <li>・「何人が答えたか」は、アンケート実施後の記録になるので、今は無記入で良いことを指導する。</li> </ul>
<p><b>2. 考えてみよう</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">質問と選択肢を考えてみよう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートをとる相手、場所、回収方法など、アンケートをより多く収集し、集計するための工夫を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルポイント②を参照しながらアンケート内容を考えさせる。</li> </ul>
<p><b>発展：アンケートを集計してみよう</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">集めたアンケートを集計してみよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集計時には、エクセル等の表計算ソフトを使い、効率的に集計する方法を指導する。</li> <li>・集計時のことを考えて、作成時に回答や選択肢に通し番号を付けておくことを指導する。</li> </ul>



### 必要となるICT機器

#### ウェブ検索が可能なパソコンまたはタブレット端末

1人1台、ペアで1台、グループで1台など、学習のねらいに応じて活用する。



### 機器活用のポイント

表計算ソフトやアプリを活用しての集計時には、「回答に通し番号を付けること」等を事前に指導しておく。

・アンケートのテーマは事前にいくつか考えておくように指導する。

・アンケートを集計した後に記入する。

・スキルポイント②を参照させ、質問文と選択肢について指導する。

**集計時における表計算ソフトやアプリの活用の指導**

- ① 通し番号をあらかじめ付けておく。
- ② 回答も番号で入力すると入力しやすい。  
例：選択肢ア→1  
      選択肢イ→2  
      選択肢ウ→3
- ③ 無回答についても約束を決めて入力しておく、入力漏れなのか、無回答なのかの区別が付きやすい。  
例：無回答→0

	A	B
1	集計表	
2	Q1	
3	通し番号	回答番号
4	1	1
5	2	0
6	3	2
7	4	3
8	5	

※ オンライン型アンケート（Google フォーム等）を活用すると自動集計も可能になる。

活動スキル

アンケートを作ろう

名前： \_\_\_\_\_

1.考えてみよう 調べる計画を立てよう

テーマ	例)文化祭の生徒会企画について		
アンケートの目的	例)各学年でやってほしい企画の違いを調べる		
答えてもらう人	例)全校生徒		
調査日	例)7月24日全校集会のとき	調査場所	例)体育館
回収方法	例)その場で回収		
何人に配るか	例)5	答えてもらった数(回答に記入)	

1 スキルのポイント①

1 そのテーマについて、思い付く限り付箋に書き出そう。

2 目的やアンケート回答のお願いを加えて、調査に答えてもらいたい気持ちを伝えよう。

3 アンケートの目的を果たすために、誰にアンケートをとつたらよいかを考えよう。

4 よりたくさんのお返事を得るために、いつ、どこでアンケートを実施し、回収するかを検討しよう。

5 調査結果の信頼性を示すために、何人に配って、何人に答えてもらったか、まとめておこう。

ウェブサイト「あつめてまとめる かつくってつたえる」で、詳しいアンケートの作り方や集計のコツを見ることができます。

2.考えてみよう 質問と選択肢を考えてみよう

質問例	1.文化祭のステージ発表で企画してほしいものを一つ選んでください			
選択肢例	1.演劇	2.クイズ	3.ダンス	4.楽器演奏
質問1	文化祭のステージ発表で企画してほしいものを一つ選んでください。			
選択肢	1.演劇	2.クイズ	3.ダンス	4.楽器演奏
質問2	次の文化祭のステージ発表の中で、ふさわしいと思う企画を選んでください。			
選択肢	1.部活動の企画発表	2.クラスの企画発表	3.どちらでもない	
質問3				
選択肢				
質問4				
選択肢				

1 スキルのポイント②

1 スキルのポイント①で書いた付箋から、質問を考えよう。  
回答する人が答えやすいように、質問の順番を入れ替えたり、書き方を変えたりしよう。

2 回答する人が答えやすいように、回答の選択肢を考えよう。  
選択肢には選択式の回答（Yes/No 回答、3択など）や、自由記述などがあります。質問の内容や回答する種類、集計方法によって、最適な選択肢は何かを考えよう。  
質問と選択肢には、順番に番号を振ろう。  
調査結果を分析するときのために、集めた後のアンケートにも通し番号を振っておこう。

**アドバイザーのコメント**

新学習指導要領では数学のデータ活用領域が強化されました。活動スキル【アンケート】は、集計・分析のもととなるデータの集め方の精度を高め、明らかにしたいことに対して適切な設問をつくり、設問文によるデータの偏りや、選択肢の抜けを防ぎましょう。また、設問は答える立場になって考えることが重要です。例示した特別活動だけでなく、国語や総合的な学習の時間で活用することもできます。また、集計する際に表計算ソフトを活用したり、オンライン型アンケートを活用したりすると、大量のデータであっても集計に時間をかけずに、結果の読み取りや分析をすることができます。